



日本遺産  
JAPAN HERITAGE  
糸都物語

# 由木中央小



令和8年2月10日  
学校だより 第13号  
八王子市立由木中央小学校

教育目標 「すすんで学習をしよう」「あったかい心をもとう」「じょうぶな体をつくろう」

HP アドレス <https://hachioji-school1.ed.jp/yugce/>

校長 松山 大作

## 令和7年度 学校評価(後期)のご報告

学校評価アンケート(後期)にご協力いただき、ありがとうございました。結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。いただいた貴重なご意見をもとに、今後の教育活動及び学校運営に生かしてまいります。

### 保護者アンケート

実施期間 令和7年11月19日～12月8日

保護者470人(児童数)に対して、210人の方から回答をいただきました。(回答率44.7%)

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない
1	学校の経営方針を知っている。	84.3%	0.0%	0.0%	15.7%	0.0%
2	学校は特色ある取り組みを行っている。	96.7%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%
3	本校が由木中・由木東小と合同で行う取り組みを知っている。	91.0%	0.0%	0.0%	9.0%	0.0%
4	学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように避難訓練・引き渡し訓練・正門の施錠などの安全管理に取り組んでいる。	74.8%	21.9%	1.0%	1.0%	1.4%
5	学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。	53.3%	34.3%	1.9%	1.0%	9.5%
6	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。	56.7%	34.3%	2.9%	1.9%	4.3%
7	子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。	58.1%	32.4%	2.9%	1.0%	5.7%
8	学校は、授業において説明、板書、話し合い活動、ICT機器(1人1台の学習用端末等を含む)の活用などの工夫に取り組んでいる。	57.6%	35.7%	0.5%	1.0%	5.2%
9	学習活動に対する評価は適切である。	62.4%	24.3%	2.9%	0.5%	10.0%
10	学校は子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っている。	66.2%	25.7%	1.4%	1.4%	5.2%
11	学校が、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	71.9%	20.5%	0.5%	1.9%	5.2%
12	学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。(ICT機器、空調、学習教材 等)	57.6%	34.3%	3.3%	1.0%	3.8%
13	学校は、保護者に対して、学校だよりやホームページ等で適切に情報を提供している。	76.7%	21.4%	1.0%	0.5%	0.5%
14	学校は、特別支援教育(チャレンジ教室、スクールカウンセラーなどのサポート体制等)に取り組んでいる。	61.4%	24.3%	1.9%	1.0%	11.4%

○設問8の「学校は、授業において説明、板書、話し合い活動、ICT機器の活用などの工夫に取り組んでいる。」では、前期より肯定的な回答が6.4%増えました。児童同士での伝え合い活動、ICT機器の活用をすすんで取り入れて授業研究を重ねています。今後も児童の学ぶ意欲が高まる授業ができるよう、引き続き工夫していきます。

○設問11の「学校が、『はちおうじっ子キャリア・パスポート』等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。」では、前期より肯定的な回答が5.6%増えました。保護者の方には、学期末に「はちおうじっ子キャリアパスポート」を通じて児童が頑張ったことや今後頑張りたいこと等をご覧いただいています。また、保護者の方から子どもたちに向けて励ましの言葉をいただくことで、児童の活力にもつながっています。引き続き、学校全体でキャリア教育を推進していきます。

●設問5の「学校は、『特別の教科 道徳』を含む教育活動全体を通して子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。」では、前期より肯定的な回答が4.7%減りました。また「わからない」という回答が9.5%でした。本校では、2月に道徳授業地区公開講座を行い、道徳の授業公開や講演会での意見交換等を実施します。今後も情報発信を行い、道徳教育についてご理解いただけるように努めて参ります。

●設問14の「学校は、特別支援教育(チャレンジ教室、スクールカウンセラーなどのサポート体制等)に取り組んでいる」では、前期より肯定的な回答が2.7%減りました。また「わからない」という回答が11.4%でした。本校では、特別支援教育コーディネーター・特別支援教室巡回教員・スクールカウンセラー等と連携しながら、特別支援教育に取り組んでいます。今後も、その取り組みについて情報発信し、多くの方に知っていただけるように努めます。わからないことがありましたら、担任や養護教諭を通じて、いつでもご相談ください。

## 地域アンケート

日頃からお世話になっている学校運営協議会の皆様にご協力をいただきました。（実施時期 10月）

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	無回答
1	学校の経営方針を知っている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2	学校は、特色ある取り組みを行っている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3	本校が由木中学校と合同で行う取り組みを知っている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4	学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5	学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
6	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7	学校は、落ち着いて学習できる雰囲気である。	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8	学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように取り組んでいる。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9	学校が、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10	学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
11	学校は、保護者に対して、学校だよりやホームページ等で適切に情報を提供している。	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12	学校は、地域運営学校として、地域とともにある学校づくりを推進している。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

○多くの項目で「あてはまる」が100%の回答をいただきました。学校運営協議会では、日頃の教育活動の様子をスライド（写真）にしてお見せしています。今後も、教育方針や教育活動について、保護者や地域の皆様に丁寧に説明していきます。

●設問6の「学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。」では、「あてはまる」が、66.7%と、他の項目に比べるとやや低い値でした。いじめの未然防止や早期発見、早期対応等の取組を引き続き充実させるとともに、「いじめ防止スローガン」等、学校の取組をより積極的に情報提供していきます。

## 児童アンケート

実施期間 令和7年11月18日～12月1日

対象 5・6年生児童

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない
1	先生たちは、学校目標（すすんで学習をしよう・あったかい心をもとう・じょうぶな体をつくろう）を伝えていますか。	60.6%	32.3%	4.7%	0.8%	1.6%
2	先生たちは、特色ある取組（ことばを大切にしたい学び合い）を行っていますか。	52.8%	39.4%	2.4%	1.6%	3.9%
3	先生たちは、由木中・由木東小と合同に行う取組を行っていますか。	47.2%	39.4%	6.3%	0.0%	7.1%
4	先生たちは、児童が安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいますか。	72.4%	23.6%	2.4%	0.0%	1.6%
5	自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動することできるように先生たちは指導していますか。	65.4%	29.1%	2.4%	0.0%	3.1%
6	先生たちは、いじめを起こさせない取組を行ったり、発生した場合には直に対応をしたりするなど、いじめを許さない学校づくりに取り組んでいますか。	70.1%	22.8%	3.1%	0.8%	3.1%
7	先生たちは、落ち着いて学習できる学級づくりに取り組んでいますか。	51.2%	44.1%	1.6%	0.0%	3.1%
8	先生たちは、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器（1人1台の学習端末を含む）の活用などの工夫に取り組んでいますか。	73.2%	23.6%	0.8%	0.8%	1.6%
9	先生たちは、児童がよりよい生活を送れるように、学校の生活指導の目標やきまりを守るよう指導していますか。	67.7%	27.6%	2.4%	0.8%	1.6%
10	先生たちは、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、児童・生徒の生き方や将来についての指導をしていますか。	51.2%	39.4%	3.9%	0.0%	5.5%
11	先生たちは、学習環境の整備に取り組んでいますか。	58.3%	34.6%	2.4%	0.0%	4.7%

○11項目中10項目で、「あてはまる」、「ややあてはまる」という肯定的な回答が9割を超えました。特に、設問8「先生たちは、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器の活用などの工夫に取り組んでいますか」で肯定的な回答をした児童は96.8%と高い値でした。今後も子どもたちが、「できた！」「分かった！」と喜びを感じられる授業づくりをめざしていきます。

●設問3「先生たちは、由木中・由木東小と合同に行う取組を行っていますか。」では、「あてはまる」の回答が他の設問に比べてやや低い値でした。前期に比べて後期は、子どもたちの具体的な交流の機会が少なかったからだと推察します。今後も由木中学校グループ3校で検討し、よりよい連携や交流について、検討をすすめていきます。

## 授業アンケート

実施期間 令和7年11月18日～12月1日

対象 4・5・6年生児童

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまら	あてはまらない
1	先生の教え方は分かりやすい。	56.6%	40.5%	2.6%	0.3%
2	自分の学習への取り組みを先生はきちんと評価してくれる(分かってくれている)。	52.8%	45.7%	1.2%	0.2%
3	先生は、授業で目標(めあて・ねらい)を示している。	60.6%	38.8%	0.4%	0.2%
4	先生は、調べたり、考えたり、話し合ったりする場面を授業の中に取り入れている。	51.0%	46.1%	2.5%	0.4%
5	先生は、パソコンやプロジェクターなどのICT機器を活用した授業を行っている。	45.2%	48.0%	4.5%	2.3%
6	先生は、授業の最後に、学習内容を振り返る活動を行っている	52.3%	43.8%	2.6%	1.2%
7	自分は、分かろうとする意欲をもって授業にのぞんでいる。	57.2%	41.3%	1.0%	0.5%
8	自分は、おしゃべりなどをしないで、授業を真面目に受けている。	23.9%	62.2%	11.4%	2.5%
9	自分は、授業中、進んで自分の考えを発表している。	27.0%	55.5%	16.5%	1.0%
10	自分は、分からないことは先生や友達に聞いている。	47.7%	48.2%	3.0%	1.0%
11	自分は、授業中、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりしている。	43.1%	55.4%	1.5%	0.0%
12	自分は、授業道具等の忘れ物はしていない。	37.6%	46.5%	14.4%	1.5%
13	自分は、ノートや提出物・宿題などをきちんと出すようにしている。	46.0%	42.5%	11.0%	0.5%
14	自分は、レッツスタディYGCを知り、取り組んでいる。(学年×10分の学習時間)	26.6%	55.3%	10.6%	7.5%
15	自分は、読書活動に意欲的に取り組んでいる。	35.6%	43.1%	16.3%	5.0%

○設問3の「先生は、授業で目標(めあて・ねらい)を示している。」では肯定的回答が99.4%でした。教員が1単位時間の目標を明確に示し、見通しをもたせて児童に指導をしていることが伺えます。

○設問7の「自分は、分かろうとする意欲をもって授業にのぞんでいる。」については、98%以上の児童が肯定的回答をしています。児童の授業に対する積極的な態度や意欲的に学習している姿が伺えます。

○設問10の「自分は、分からないことは先生や友達に聞いている。」、項目11の「自分は、授業中、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりしている」については約96%以上の児童が肯定的回答をしています。分からないことをそのままにせず、日常的に教え合ったり、先生に聞いたりする雰囲気醸成されていることが伺えます。

△設問5の「先生は、パソコンやプロジェクターなどのICT機器を活用した授業を行っている。」では、93.2%の肯定的回答がありました。その一方で否定的回答が、前期の4.8%から6.8%に増加しています。ICTを活用した取組を今後も各教員が工夫する必要があります。

△設問9の「自分は、授業中、進んで自分の考えを発表している。」について、17.5%の児童が否定的回答をしました。(前期の19.0%からわずかに減少しています。)引き続き、ペア学習やICT活用の工夫を行い、児童が自分の考えをもち、他者に伝えやすい授業づくりを行っていきます。

●設問14の「自分は、レッツスタディYGCを知り、取り組んでいる。(学年×10分の学習時間)」では否定的回答が18.1%で、前期と比較すると約4%増加しました。基礎基本となる宿題への家庭での学習への取り組み方、自分からすすんで課題を設定して学習する習慣付けなどを引き続き指導していきます。

●設問15の「自分は、読書活動に意欲的に取り組んでいる」では、21.3%の児童が否定的回答をしており、前期より約7%増加しました。学期ごとのビブリオバトル、定期的な読み聞かせなどを軸に、読書に触れる機会を増やしていきます。

## 教職員 自己評価アンケート

実施期間 令和7年12月9日～19日

対象 全教職員

※「保護者アンケート」、「地域アンケート」、「児童アンケート」、「授業アンケート」を参考資料として、全教職員が、設定した目標や具体的計画等に照らして、達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価しました。

			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない
1	重点目標	本校の教育目標を理解し、教育活動を行っている。	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2		研究テーマ「自分で考え、伝え合う児童の育成～個別最適・協働的な学びをめざして～」に向け、授業実践をしている。	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3		「学び合い」を深めるために、話し合い活動を工夫し、授業に取り入れている。	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4		言語環境を整え、自らの考えを相手に伝える力を育むことができている。	30.0%	60.0%	10.0%	0.0%	0.0%
5	学習指導	「聞く」「話す」の学びの姿勢を身につけさせ、学習規律が定着している。	20.0%	70.0%	10.0%	0.0%	0.0%
6		基礎的な学力の充実・定着を十分に図り、教科の目標が達成している。	25.0%	60.0%	10.0%	5.0%	0.0%
7		思考力や判断力の育成を重視し、問題解決学習や体験的活動を行っている。	40.0%	55.0%	0.0%	0.0%	5.0%
8		個に応じた指導など、指導方法の工夫と改善を図っている。	65.0%	35.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9		各教科において、年間指導計画に基づいて指導している。	65.0%	35.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10		朝読書や音読・朗読などの子どもの読書活動の推進に取り組んでいる。	40.0%	45.0%	5.0%	5.0%	5.0%
11	生活指導	「あいさつ」など基本的な生活習慣が身につくよう指導している。	85.0%	15.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12		毎月の生活目標が達成できるように、意識化させ指導している。	55.0%	45.0%	0.0%	0.0%	0.0%
13		豊かな人間関係を育む活動を工夫し、思いやりの心をもたせている。	35.0%	55.0%	5.0%	0.0%	5.0%
14		児童の悩みを聞き、相談に応じることができている。	65.0%	30.0%	0.0%	5.0%	0.0%
15		いじめや不登校などの把握に努め、丁寧な対応を行っている。	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
16		安全指導計画に基づいて、安全指導を適切に行っている。	75.0%	20.0%	0.0%	0.0%	5.0%
17		生活指導における校内体制を把握し、自分の役割を果たしている。	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18	環境整備	学校、学年、学級の取り組みが分かるような、教室・廊下など掲示がなされている。	50.0%	45.0%	5.0%	0.0%	0.0%
19		子どもの人権に留意した掲示がなされている。	65.0%	30.0%	0.0%	0.0%	5.0%
20		施設、備品(教具)など有効に活用されている。	65.0%	30.0%	5.0%	0.0%	0.0%
21		施設・備品の点検・整備・改善は、定期的に行っている。	60.0%	35.0%	0.0%	5.0%	0.0%
22		子どもとともに、清掃活動に熱心に取り組んでいる。	65.0%	35.0%	0.0%	0.0%	0.0%
23	保護者や地域との連携	授業参観や懇談会は、保護者や地域の要望など踏まえながら実施している。	55.0%	35.0%	5.0%	0.0%	5.0%
24		保護者や地域への情報発信は、十分にできている。	20.0%	65.0%	10.0%	5.0%	0.0%
25		地域・保護者の人材を活用した授業を取り入れている。	45.0%	50.0%	0.0%	5.0%	0.0%
26	小中一貫教育	小中一貫教育の趣旨を理解している。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
27		小中一貫教育指導資料を活用し、9年間を見通した指導を行っている。	45.0%	55.0%	0.0%	0.0%	0.0%
28		近隣の幼稚園・保育園と連携を取り、連携を推進(理解)している。	70.0%	25.0%	5.0%	0.0%	0.0%
29		特別支援教育についての理解を深め、特別支援学級の担任やコーディネーター、SC、専門員などと連携を図り、対象児童の支援に適切に取り組んでいる。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%

○設問2「研究テーマ『自分で考え、伝え合う児童の育成』に向け、授業実践をしている。」では、全員が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答しました。今年度も全学年が研究授業に取り組むなど、研究活動の充実が学習指導力や授業の質向上につながっています。

○設問11「『あいさつ』など基本的な生活習慣が身につくよう指導している。」では、「あてはまる」の回答が85%で、昨年度や前期と比較しても高い意識をもって指導に当たっていることが表れています。

○設問25「地域・保護者の人材を活用した授業を取り入れている。」では、「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた肯定的回答が95%で、前期の65%に比べると大きく増加しました。意識的に学習計画を立てて実践したことが表れています。

●設問6「基礎的な学力の充実・定着を十分に図り、教科の目標が達成している。」では、否定的回答が15%でした。引き続き「算数タイム」での反復学習や、1人1台学習用端末を用いた「ドリル型学習コンテンツ」を中心に、基礎学力の定着に取り組めます。

●設問10「朝読書や音読・朗読などの子どもの読書活動の推進に取り組んでいる。」でも、否定的回答が15%でした。PTA 図書ボランティアの皆様には、毎月献身的にご支援をいただいているところです。さらに読書活動の推進のために、教職員がより共通理解を持って取り組んでいく必要があります。

●設問24「保護者や地域への情報発信は、十分にできている。」でも、否定的回答が15%でした。学年や教員によって情報発信への意識や実情に差があるので、情報発信の頻度や内容を精査し、学校全体で共通理解をもつ必要があります。